

リーディング DXスクール事業【実践事例】

能美市立辰口中学校(石川県)【指定校】

【取組内容】 課題研究(総合的な学習の時間における探究的な学び)

◆課題研究における学び

本校では、個別最適な学びの協働的な学びの一体的な充実を図る学習活動として、総合的な学習の時間に課題研究(探究的な学び)を行っている。課題研究とは、各学年のテーマの中で、個人のテーマを持ち、生徒は自分の学びに合ったゼミ(学域)に所属、3年間かけて、自分のテーマの学びを進めていく。一人一台端末(CB)を持ち、各自のテーマを指示された枚数でスライド(Googleスライド)、原稿(Googleドキュメント)にまとめる。



乳、これから「のみバスを有効活用しよう」の発表を行います。

☑このテーマにしたきっかけは、自分の町ではのみバスは走っているが利用している人が誰もおらず、私自身も利用しないからです。利用者がいないのに、周回しているのはもったいないと思いました。多くの人にとって便利な交通手段にするために、私は2つの取り組みを提案します。

☑はじめに、みなさんは乗り合い号というのを知っていますか。乗り合い号とは大きいタクシーのようなもので、事前に予約し停留地点から停留地点まで利用できる交通サービスです。加賀市では実際に運用されています。☑このサービスには2つの便利なポイントがあります。1つ目は、乗りたい時間で予約ができることです。能美市のアンケート調査によると、公共交通機関を利用していない理由で最も多いのは、時間の制約が大きいからです。特に免許を返納した高齢者や車を持っていない18歳未満の人たちにとってより利用しやすくなるでしょう。2つ目は料金がリーズナブルなことです。☑加賀市の乗り合い号の利用料

←生徒のスライド

調べたことは成果物としてスライドにまとめていく。



←生徒の原稿

ドキュメントでスライドに合わせた原稿をまとめていく。

リーディング DXスクール事業 【実践事例】

能美市立辰口中学校(石川県)【指定校】

【取組内容】 課題研究(総合的な学習の時間における探究的な学び)

◆学びを進める中で

テーマにそって研究を進めるために、様々な方法で情報を集めていった。例えば・・・

- ・Googleフォームによるアンケート
- ・地域人材から直接話を聞く
- ・地域に出向いて見学をする

また、同じゼミの生徒に意見をもらったり、見てもらったりしながら、スライドのブラッシュアップをはかった。

◆学習のまとめ

スライドを操作し、ドキュメントでの原稿を読みながらゼミごとにゼミ内

発表会を行った。更にその中のよかったものが学年発表会、全校発表会

で発表される。生徒は発表を聞きながら、Googleフォームで振り返りを行う。

◆成果

・成果物の作成、情報 収集(ネットでの検索・アンケートフォーム、資料収集のため の問い合わせ等)、評価・振り返り、等端末の果たす役割が非常に大きい。

・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ることができ、更に教科の学びと関連付けながら、課題解決する力を身につけることができた。